

地域で広がれ！福祉の「輪」♪



福祉委員さんは、地域のつながりづくりを目指しています。

本会では、さりげなくお互いを支え合い、困ったときに遠慮なく助けを頼めるような地域社会づくりを目指し、概ね自治会単位に「福祉委員」を設置しています。

現在の地域社会は、少子高齢化が進む中で、人と人とのつながりが希薄化しつつある状況です。

福祉委員には、民生委員や関係機関（高齢者総合相談センター等）と連携を進めることで、よりきめ細やかな地域の「つながり」づくりの推進が期待されています。

この「つながり」づくりの具体的な方法の一つとして「見守り」という方法があり、各地域で地域性に応じた見守りの取り組みが展開されていますので、ご紹介します。

福祉委員の 役割って何？

- ① 地域にある問題や困っている人を**見つける**。
- ② 民生委員や高齢者総合相談センターなどに**知らせる**。
- ③ 地域活動を通じて地域関係者と**つながる**。

福祉委員さん 活動事例

地域の見守り体制の充実を目指して（西宇部校区）



お元気だより手渡しの様子

西宇部校区では、民生委員が消費者トラブルに関する資料の配布をきっかけにして以前より一人暮らし等の高齢者宅を訪問していました。

宇部市地域・保健福祉支援チームの担当保健師の加生さんは、校区の健康づくりに取り組む中で、季節ごとの健康情報や介護予防情報を多くの高齢者に周知したい思いもあり、平成27年6月より「西宇部お元気だより」を作成しました。

毎月、民生委員と福祉委員が分担して配布しています。分担することで訪問先の高齢者の情報交換にもつながっています。

「お元気だより」は訪問時に不在の場合、メッセージを記入できるように工夫がされている☆



「福祉委員さんの声」

里の尾自治会では民生委員の三隅さん、福祉委員の三隅さん・森山さんの3人が協力して活動しています。

「お元気だより」があるので訪問しやすいです。高齢者と一緒に読んでいます。相手の方にも訪問された実感が残ります。不在でも家の様子を伺う機会になり安否確認にも繋がっています。

また、10月から2ヶ月に1回サロンも始めました。このような活動を通してお互いに顔や名前を覚え、まちで会った時にも会話が生まれるようになりました。自分たちの将来のためにも仲良く頑張っています。



3人で元気にサロンを盛り上げています♪

問合せ ▶ **地域福祉課** TEL33-3134 FAX22-4391